学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	デッサンと色彩	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デッサンでは、直方体や円柱、球など基本的形の描き方を学習します。
また色彩では、基本的な色彩理論の学習をします。また、その学習をいかし実際に絵の具や色鉛筆を使って色彩構成などをおこないます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深くかかわる資質・能力を育成することをめざす。

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表せることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の糸と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方やかんじかたを深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の造形的な諸活動に取り組み、生涯に美術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫し造形的に表している	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	・美術や美術文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	デッサン	「デッサンの基本・グラデーション制作」 姿勢、鉛筆の削り方・使い方、モチーフの置き方について 明度グラデーション制作	a:道具の使い方を理解しグラデーションを制作できる c:丁寧に作品を完成させることができる	作品		作品
	色彩理論	「光と色」 色の見えるしくみ 眼のしくみ 混色の仕組み	a:色が見えるということはどういうことなのか理解している c:ワークシートに理解したことを記入することができる	プリント		ワークシート
	デッサン	「直方体・円柱」 デッサンで直方体のレンガと円柱の植木鉢を描く	a:直方体や円柱の形のとりかたを理解している b:直方体や円柱の構造を理解しレンガや植木鉢の描くときに応用して描くことができる。自分が感じた質感も描くことができる c:作品を完成させることができる	プリント	作品	作品
後期	色彩理論	「色彩調和」「色の表示」 色の山三属性・色相環トーンの仕組み 配色のルール	a:色の調和や効果について理解している c:ワークシートに理解したことを記入することができる	プリント		ワークシート
	デッサン	「球」 デッサンでテニスボールを描く	a:球の描き方を理解している b:球の構造を理解しテニスボールの形や文字を描くときに応用して描くことができる。自分が感じた質感も描くことができる c:作品を完成させることができる	プリント	作品	作品
	色彩構成	色彩構成「春・夏・秋・冬」 色彩理論で学んだことを生かして自分のイメージの季節ごとの色彩構成を制作する	b:色彩理論を理解し自分の意図した配色で表現することができる c:丁寧に作品を完成させることができる		作品	作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度